

enocoのそうだん [eno so done!]

相談シート06 まずは言葉にしてみる、実行してみることで自分のやりたいことを再確認

[トップ](#) >> [enocoのそうだん \[eno so done!\]](#) >> 相談シート06

アドバイザー

甲賀 雅章 (enoco館長/大道芸ワールドカップIN静岡プロデューサー)

1951年静岡市生まれ。1985年株式会社シーアンドシー、1991年株式会社シーアイセンターを設立。広義の意味でのデザイン、文化戦略を21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。1992年から大道芸ワールドカップIN静岡を立ち上げプロデューサーを務める。2009年地域・社会の問題をデザイン思考で解決すべく、ソーシャルデザイン研究所を設立。2011年6月静岡県榛原郡川根本町千頭、山間の里にCafe&Gallery「Ren」をオープン。2012年からはenocoの館長として企画運営に携わっている。



相談者

子ども向けアートイベントの開催を主宰する一般市民

相談分野 (キーワード)

地域活性

市民協働

観光

まちづくり

文化

広報・PR

その他

主な相談内容

仕事の傍ら、自ら中心となって、アートをテーマに子どもを対象としたワークショップを企画・実施しているが、今後の改善や発展について相談したい。

Q 1

効果的な告知方法がわからない。個人とそのネットワークでは限界がある。また様々な人やグループと連携していきたい。

A 1

1. ブランディング

まずプロジェクトのコンセプトを明確に文章化することが必要。ブランディングとはリピーターを獲得するもっとも効果的な方法である。

- ・差別化 (差異性) : 他とどのように違うのかを明文化することで、スタッフの共通認識ができる。
- ・標識化 : ロゴの制作
- ・行動 : 事業をどう継続させていくのか、プレはないのかの確認
- ・保証 : このイベントに参加したらいつも満足できる。という気持ち

2. インフォメーション

- ・次回のインフォメーションを開催日に伝える。
- ・常に自分の場所に来てもらうだけでなく、こちらから出前 (出張) していく。これによって宣伝にも仲間増やしにも繋がる。

相談者の声

今後もenocoさんへ時々おじゃまして色々ご相談にのっていただければ幸いです。具体的にイベントを一度終えたところですがこれを活かしてアドバイスいただいたようなブランディング面を整備したいと思っております。また他の団体の主催するイベントにも参加していきたいと思います。

その後の動き

enocoが仲介となって、子どもを対象としたアートワークショップを得意とするNPOと引き合わせ、具体的なアドバイスを提供すると共に、今後の連携の可能性について話し合った。

サイトポリシー・
プライバシーポリシー

指定管理者

バナー広告募集

> enocoについて

> 事業紹介

> フロアガイド

> レンタルスペース

> お知らせ・プレスリリース

> メルマガ登録

> ニュースレター

> お問い合わせ

> アクセス

いいね! 0

ツイート

